

愛知県のぶどう・いちじく生産の概要

1 愛知県のぶどう栽培について

2023年産の本県産ぶどうの結果樹面積※は393ヘクタール、収穫量は3,210トンで、結果樹面積は全国7位、収穫量は全国8位です(表1、表2)。大府市を始め、県内で広く栽培されています(表3)。

県内で栽培されている品種は、「巨峰」が約5割を占め、中でも、植物成長調整剤ジベレリンを用いた「種なし巨峰」の栽培は本県が発祥です。

また、近年では「シャインマスカット」など様々な品種が導入されています(図1)。

※ 結果樹面積

収穫するための果実を結実させた園地の面積。

表1 全国主産県と愛知県のぶどう結果樹面積(2023年産)

順位	県名	結果樹面積 ha	結果樹面積 シェア %
1	山梨県	3,790	23.1
2	長野県	2,510	15.3
3	山形県	1,410	8.6
⋮	⋮	⋮	⋮
7	愛知県	393	2.4
全国計		16,400	100.0

(出典：農林水産省 果樹生産出荷統計)

表2 全国主産県と愛知県のぶどう収穫量(2023年産)

順位	県名	収穫量 t	収穫量 シェア %
1	山梨県	41,700	25.0
2	長野県	31,400	18.8
3	山形県	13,800	8.3
⋮	⋮	⋮	⋮
8	愛知県	3,210	1.9
全国計		167,000	100.0

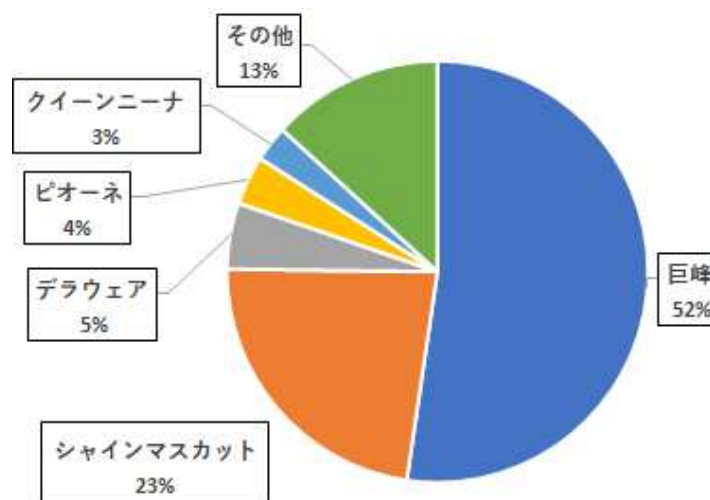
(出典：農林水産省 果樹生産出荷統計)

表3 愛知県市町村別栽培状況(2022年産)

順位	市町村名	栽培面積 ha	シェア %
1	大府市	55.5	22.1
2	東浦町	54.6	21.7
3	東海市	25.0	9.9
4	岡崎市	22.1	8.8
5	豊橋市	16.4	6.5
6	春日井市	10.7	4.3
7	小牧市	9.8	3.9
8	刈谷市	8.6	3.4
9	豊明市	7.5	3.0
10	新城市	6.5	2.6

(愛知県調べ)

図1 愛知県におけるぶどうの品種構成(2022年産)



(愛知県調べ)

2 愛知県のいちじく栽培について

2021年産の本県産いちじくの栽培面積は116ヘクタール、収穫量は1,698トンで、栽培面積は全国1位、収穫量は全国2位です(表1、表2)。

また、2022年産の産出額は13億円と、全国の約2割を占めており(表3)、主に関東地域や中京地域に出荷されています。

安城市、西尾市を中心とした西三河地域や、常滑市を中心とした知多地域などで盛んに栽培されているほか、県内で広く栽培されています(表4)。

表1 全国主産県と愛知県のいちじく栽培面積(2021年産)

順位	県名	栽培面積	栽培面積シェア
		ha	%
1	愛知県	116	14.0
2	和歌山県	87	10.5
3	福岡県	69	8.3
4	宮城県	66	7.9
5	兵庫県	63	7.6
全国計		831	100.0

(出典：農林水産省 特産果樹生産動態等調査)

表2 全国主産県と愛知県のいちじく収穫量(2021年産)

順位	県名	収穫量	収穫量シェア
		t	%
1	和歌山県	1,844	18.2
2	愛知県	1,698	16.7
3	大阪府	1,273	12.6
4	兵庫県	1,170	11.5
5	福岡県	849	8.4
全国計		10,143	100.0

(出典：農林水産省 特産果樹生産動態等調査)

表3 全国主産県と愛知県のいちじく産出額(2022年産)

順位	県名	産出額	産出額シェア
		億円	%
1	和歌山県	14	20.3
2	愛知県	13	18.8
3	福岡県	7	10.1
4	大阪府	7	10.1
5	兵庫県	5	7.2
全国計		69	100.0

(出典：農林水産省 生産農業所得統計)

表4 愛知県市町村別栽培状況(2022年産)

順位	市町村名	栽培面積	シェア
		ha	%
1	安城市	17.9	16.7
2	常滑市	9.8	9.1
3	西尾市	8.7	8.1
4	碧南市	8.3	7.7
5	豊川市	8.1	7.6
6	稲沢市	8.1	7.6
7	田原市	6.4	6.0
8	豊田市	6.1	5.7
9	知多市	5.0	4.7
10	弥富市	4.6	4.3

(愛知県調べ)